

# 学習指導要領の変更点と 内容の取扱いについて

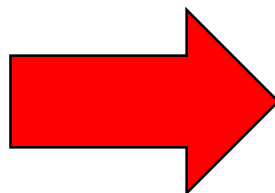
令和元年5月15日（水）

講師：長崎県教育庁体育保健課 学校体育班 杠 友樹

## 指導内容の整理（運動領域）

現行では・・・

- 技能
- 態度
- 思考・判断



新では・・・

- 知識及び技能
- 思考力、判断力、表現力等
- 学びに向かう力、人間性等

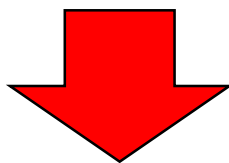
「主体的・対話的で深い学び」の  
実現に向けた授業改善の取組を通して

**生涯にわたって豊かな  
スポーツライフの実現を目指す**

## ○知識及び技能について

- (1) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。

学習指導要領解説 P. 6 7 第3学年及び第4学年の目標



**現行では、知識は「思考・判断」の中に含まれていたが、  
新では、知識と技能がひとまとまりになった**

現行の学習指導要領解説より

- ア 基本的な技の練習の仕方を知り、自分の力に応じた練習方法や練習の場を選ぶこと。
- イ 基本的な技の動き方や技のポイントを知り、自分の力に合った課題を選ぶこと。

# ○知識及び技能について

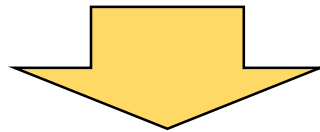
## 「運動の行い方に関する知識」とは

### ①運動の行い方に関する知識

⇒その運動（技）を効果的に解決するための  
体の動かし方の情報：技のポイント等

### ②課題の解決の仕方に関する知識

⇒技術を身に付けるための  
練習の仕方の情報：場の工夫等



2つの知識の情報を理解するとともに、技能を身に付けていく  
**「わかる」と「できる」**

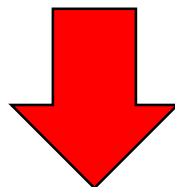
※運動が苦手な児童への配慮の例が示された

## ○思考力、判断力、表現力等について

- (2) 自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。

学習指導要領解説 P. 6 7 第3学年及び第4学年の目標

**対話的な学びを深め、それを人に伝えることによって新たな課題解決が見つかる**



**「主体的・対話的で深い学び」に関する部分**

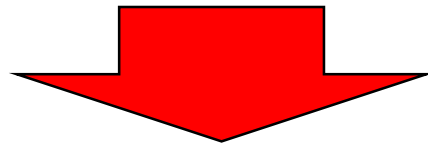
**※特に表現力に関しては、体育でこそ身に付けることができる表現力を伸ばしていくことが重要**

## ○学びに向かう力、人間性等について

- (3) 各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする態度を養う。また、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。

学習指導要領解説 P. 6 7 第3学年及び第4学年の目標

**友達の考えを聞くことで、自己の考えを深めたり、友達との良好な関係を築いたりすることを目指す**



**○共生の視点から、友達の考えを認めることが加わった  
※運動に意欲的でない児童への配慮について取り上げた**

# 指導内容について

## 第3学年及び第4学年

### B 器械運動 ア マット運動を例にして…

- 技の系統性について
- 運動が苦手な児童への配慮の例について
- 思考力、判断力、表現力等の  
指導内容の例示について
- 運動に意欲的でない児童の例について



# 指導内容について

## ○技の系統性について（現行では、「回転技」と「倒立技」で示されていた）

				低学年	中学年	高学年	中学校
種目	系	技群	レベル	運動遊び	基本的な技 (発展技)	発展技 (更なる発展技)	基本的な技 (発展技)
マット運動	回転系	接転技	前転	ゆりかご 前転がり 後ろ転がり 背支持倒立(首倒立) だるま転がり 丸太 転がり	前転 場を使った開脚前転 (開脚前転)	補助倒立前転(倒立 前転)(跳び前転) 開脚前転(場を使っ た伸膝前転)	補助倒立前転(倒立 前転)(跳び前転) 開脚前転(伸膝前転)
			後転	かえるの逆立ち かえるの足打ち うさぎ跳び 壁上り 逆立ち	後転, 開脚後転(伸 膝後転)	伸膝後転(後転倒立)	開脚後転(伸膝後転 後転倒立)
		ほん転技	倒立回転	背支持倒立(首倒立), 壁上り逆立ち, プリ ッジ,	補助倒立ブリッジ (倒立ブリッジ) 側方倒立回転(ロン ダート)	倒立ブリッジ(前方 倒立回転 前方倒立 回転跳び) ロンダート	倒立ブリッジ(前方 倒立回転 前方倒立 回転跳び) 側方倒立回転(ロン ダート)
			はね起き	かえるの逆立ち かえるの足打ち うさぎ跳び 支持で の川跳び	首はね起き(頭はね 起き)	頭はね起き	頭はね起き
	巧技系	平均立 ち技	倒立	腕立て横跳び越し 肋木	壁倒立(補助倒立) 頭倒立	補助倒立(倒立)	補助倒立(倒立) 頭倒立

学習指導要領解説 P. 175

- 小・中・高校と系統性を持った指導が可能になる
- 基本的な技と運動遊びの関係性も明らかになる



# 指導内容の変更について

## ○運動が苦手な児童への配慮の例について

### ○ 前転（発展技：開脚前転）

- ・ シャがんだ姿勢から手で支えながら腰を上げ、体を丸めながら後頭部－背中－尻－足裏の順にマットに接して前方に回転して立ち上がること。

**（どのように体を動かせばいいのか⇒動きに関する知識）**

学習指導要領解説 P. 8 0



### ◎ 運動が苦手な児童への配慮の例

- ・ 前転が苦手な児童には、ゆりかごなどの体を揺らす運動遊びや、かえるの逆立ちなどの体を支える運動遊びに取り組んだり、傾斜を利用して回転に勢いをつけて転がりやすくしたりするなどの配慮をする。

**（できない原因を解決するためのヒント）**

学習指導要領解説 P. 8 1

**○配慮の例として挙げられている運動遊びは、その運動（技）に必要な能力や体の動かし方を身に付けるために非常に重要**

**○場の設定を工夫する際の参考にもなる**

# 指導内容について

## ○思考力、判断力、表現力等の指導内容の例示について

ア 自己の能力に適した課題を見付け、その課題の解決のための活動を選ぶこと。

○ 学習カードや掲示物を用いて、自己の能力に適した課題を見付ける例

- ・ 上手くできたところやできなかったところを、学習カードや掲示物などの連続図に目印や色をつけたり、シールを貼ったりして、自己の能力に適した課題を見付けること。

○ 技のできばえを視覚的に振り返って、自己の能力に適した課題を見付ける例

- ・ 手の着く位置や着地する位置に目印を置くなどして、技のできばえを視覚的に確認して、自己に適した課題を見付けること。

学習指導要領解説 P. 8 5

○今回の改訂で、新たに、具体的な例示が示された  
⇒思考力、判断力、表現力等を育むための指導のヒント

# 指導内容について

## ○運動に意欲的でない児童の例について

### ◎ 運動に意欲的でない児童への配慮の例

- ・ 技への恐怖心がある児童には、落ちても痛くないようにマットを敷いたり、回転しやすいように鉄棒に補助具を付けたりして、場を工夫するなどの配慮をする。
- ・ 技への不安感がある児童には、必要な体の動かし方や運動感覚が身に付くように、低学年で学習した運動遊びに取り組む場を設定するなどの配慮をする。

学習指導要領解説 P. 8 6



**性別、運動の得意・不得意、障がいの有無にかかわらず、全ての児童が楽しく体育に取り組めるようにすることが重要<sub>1</sub>**